

地域医療支援病院業務報告書

令和 6 年 9 月 30 日

(申請者)
横浜市長

申請者 住 所 横浜市金沢区瀬戸22-2
公立大学法人横浜市立大学

氏 名 理事長 近野 真一

〔 法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕
電 話 045-261-5656

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号
氏 名	公立大学法人 横浜市立大学

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	コウリツダイガクホウジン ヨコハマイチリツダイガクフゾクシミンソウゴウイリョウセンター
病院名	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター

3 所在地

〒 232-0024 神奈川県 横浜市南区浦舟町4丁目57番地 電話： (045)261-5656

4 病床数(使用許可病床数)

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
42床	0床	0床	0床	676床	718床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	病床数 <u>35</u> 床 (G-ICU8床・E-ICU12床・CCU6床・NICU9床) (主な設備) 生体情報モニタリングシステム、人工呼吸器、除細動器、超音波診断装置、内視鏡システム、DVT予防フットポンプ、血液ガス分析装置、体温維持装置、医療用ポンプ、スケールベッド、血液浄化装置、補助循環装置、閉鎖式・開放式保育器、電気メス、陰陽圧空調システム、顕微鏡(オリンパス:BX53)、遠心分離機(KUBOTA:2800)
化学検査室	(主な設備) 全自動生化学分析装置(日立ハイテック:Labospect008α、Labospect006)、全自動免疫分析装置(ロシュ:COBAS8000、シーメンス:ケミルMADVIA Centaur XPT)、多項目自動血球分析装置(シスメックス:XN-9100)、全自動血液凝固測定装置(シスメックス:CN-6500)、全自動尿分析装置(栄研化学:US3100R plus)、全自動尿中有形成分分析装置(シスメックス:UF-1000i)、高純水製造装置(メルク)、システム顕微鏡(オリンパス:BX53)、遠心分離機(KUBOTA)、試薬冷蔵庫・ディープフリーザー・バイオハザード用安全キャビネット(PHC)
細菌検査室	(主な設備) 全自動細菌検査装置(ベックマン・コールター: WalkAwayDxM1096)、マイクロキャンパネル用自動菌液分注装置(ベックマン・コールター:AutoRenok BRIDE II)、微生物分類同定分析装置(ベックマン・コールター:MALDI Biotyper sirius)、全自動血液培養装置(ヒオメリュー・ジャパン:VIRTUO)、バイオハザード用安全キャビネット(PHC)、システム顕微鏡(オリンパス:BX43)、蛍光顕微鏡(オリンパス:BX53)、遠心分離機(KUBOTA:S700FR)、遺伝子解析装置(ヒオメリュー・ジャパン:FilmArray、ロシュ:コバズz480、ロシュ:MagNApure24システム、Bio Rad:QX200 Droplet Reader IVDシステム)、自動染色装置(セントラル科学貿易:POLYSTAINER)、試薬冷蔵庫・ディープフリーザー(PHC)、ふ卵器・CO2培養器(HIRASAWA)、オートクレーブ(TOMY: SX-500)
病理検査室	(主な設備) 自動染色装置・自動免疫染色機・遺伝子検査機器・薄切器・自動包埋装置・包埋センター・スライドガラスプリンター・顕微鏡・遠心機・凍結標本作製機・撮影装置・実験台・浄水器・電子顕微鏡・超薄切器・クリーンベンチ・安全キャビネット・試薬冷蔵庫・試薬棚・ホルマリン対策用切出台・秤・カセットプリンター
病理解剖室	(主な設備) 解剖台・撮影装置・冷蔵庫・水洗槽・臓器保管棚・安全キャビネット・臓器固定槽・ホルマリン対策用切出し台・遺体安置冷蔵庫・秤
研究室	(主な設備) ディープフリーザー、イメージアナライザー、マイクロプレートリーダー、卓上型振とう恒温槽、ディスカッション顕微鏡、小型超遠心機、リアルタイムPCRシステム、オールインワン蛍光顕微鏡、超純水製造装置システム、マイクローム、全自動電気泳動装置、クリーンベンチ、薬用冷蔵ショーケース、スーパーエレクトロポレーター、マルチガスインキュベーター、インジェクションシステム、紡錘体可視化システム、自動セルカウンター等、レーザー穿孔装置、ダイセクションシステム、実体顕微鏡、CO2インキュベーター等
講義室	収容定員 <u>60</u> 人 室 数 <u>1</u> 室
図書室	室 数 <u>1</u> 室 蔵 所 数 <u>25,640</u> 冊程度 雑 誌 <u>1,006</u> 誌

施設名	施設概要
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数 <u>2</u> 台 (内訳: 医師搬送用緊急自動車1台、転院搬送用緊急自動車1台) (主な設備) 医師搬送用:AED、吸引器、無線機、酸素ボンベ 転院搬送用:AED、吸引器、酸素ボンベ、ストレッチャー、バックボード、リチウムバッテリー、患者灯、点滴フック、電動油圧リフターゲート、ルーフトーフ
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 <u>59.3</u> m ² 【共用室の場合】 _____ 室と共有

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①/② - (③+④+⑤)	88.6%
	①紹介患者数	21,133人
	②初診患者数	26,757人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	1,929人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	984人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦/② - (③+④+⑤)	90.2%
	⑦逆紹介患者数	21,513人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	28人	歯科医師	0人	看護師	148人
薬剤師	60人	臨床検査技師	82人	臨床工学技士	24人
診療放射線技師	56人	保健師	0人	看護補助者	0人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	47床
専用病床	(E-ICU)12床 (救命病棟)8床 (救命後方病棟)27床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
X線撮影室	23.3㎡	(主な設備)X線単純撮影装置 島津製作所;UD150BC-41	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
CT検査室	25.4㎡	(主な設備)X線CT検査装置 キヤノン;TSX-303B/GA	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
CT初療室	67.8㎡	(主な設備)X線CT検査装置 東芝;TSX-303A/PI	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
X線透視室	29.8㎡	(主な設備)X線透視撮影装置 キヤノン;DREX-UI80/07	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
血管撮影室	47.5㎡	(主な設備)X線血管撮影装置 東芝;INFX-8000V/JE	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
救急棟地下2階 MR検査室	28.3㎡	(主な設備)MRI検査装置 東芝;MRT-1510	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

4 備考

平成15年4月 厚生労働省から高度救命救急センターに承認

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1)救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,038人
	(1,929人)
上記以外の救急患者の数	4,417人
	(1,080人)
合計	8,455人
	(3,009人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2)救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A: 救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	0人
B: 救急医療圏(2次医療圏)人口※	3,768,664人
C: $A/B \times 1,000 > 2$	0.0

※2023年4月1日時点の人口

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	22施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	22施設
医療機器共同利用件数	89件
共同利用病床数	1床
共同利用に係る病床の病床利用率	0%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input checked="" type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input checked="" type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他()	<input type="checkbox"/>				
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input checked="" type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
---------------------------------------	----------------------------

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0施設
	無	561施設

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件－開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

別紙1-1、1-2のとおり

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	55回
(2) (1)の研修参加者数	2,575人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
6階会議室	147.1m ²	(主な設備) テレビ会議システム、電子カルテシステム、プロジェクターシステム(ブルーレイ)、大型スクリーン、マイク、司会者台、調光、湯沸かし室 会議机(3人掛)18台、椅子75脚
		(主な設備)
		(主な設備)
		(主な設備)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)	患者総合サポートセンター 担当課長	
管理担当者(役職名)	患者総合サポートセンター 地域連携担当係長	
保管場所		
診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約)	各部署及びシステムサーバ (病院日誌、各科診療日誌(病棟日誌)は、紙媒体、その他は、電子カルテで患者IDごとに分類)	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携担当
	救急医療の提供実績	医事管理担当
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	地域連携担当
	閲覧実績	地域連携担当
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	地域連携担当

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	患者総合サポートセンター 担当課長		
閲覧担当者(役職名)	患者総合サポートセンター 地域連携担当係長		
閲覧の求めに応じる場所	病院内各会議室		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>①令和5年5月24日(現地開催:アパホテル&リゾート)</p> <p>1 ポストコロナと地域連携に向けて</p> <p>2 消化器病センター外科の紹介</p> <p>②令和5年9月15日(WEB開催)</p> <p>1 地域医療連携実績報告</p> <p>2 LINE初診紹介予約システム導入について</p> <p>3 地域医療機関への訪問活動について</p> <p>4 初診紹介に係るお伺い等について</p> <p>5 その他質問・ご意見</p> <p>③令和6年1月19日(WEB開催)</p> <p>1 地域医療連携実績報告</p> <p>2 LINEを活用した初診予約システムの導入</p> <p>3 医師の働き方改革への対応</p> <p>4 市大センター病院が地域医療に貢献するために</p> <p>④令和6年3月25日(メール及び文書送付による開催)</p> <p>1 LINE初診予約開始以降の初診受付対応実績</p> <p>2 病院稼働状況(外来・入院)の推移</p> <p>3 救急隊・医療機関からの当院救急専用回線等への入電と応需状況</p> <p>4 令和5年度 クリニック・病院 訪問活動実績</p> <p>5 令和5年「病院要覧」</p> <p>6 十全No.37(病院広報誌)</p>	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/>
患者相談を行う場所	「その他」記入欄 病棟面談
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	医療ソーシャルワーカー、看護師、 相談員(看護師、事務職員)
患者相談件数	37,569件

患者相談の概要

- ①医療ソーシャルワーカーによる相談支援
- ・転退院支援
 - ・介護保険、障害者総合支援法のサービス導入
 - ・経済的な課題に対する相談支援
 - ・権利擁護（児童・高齢者・障害者虐待、ドメスティックバイオレンス等）
 - ・その他の社会的・心理的な相談支援
- ②地域連携・入退院支援センター看護師による入退院支援
- ・入院予定患者のプロフィール聴取、退院支援が必要なリスクの抽出
 - ・各担当病棟での入院患者に対する退院支援（療養先の選択、介護保険案内、日常生活援助含めたサービス調整、緩和ケア病棟の案内など）
 - ・院内外関連スタッフとの連携、カンファレンスなどの開催
 - ・地域医療機関（訪問看護・在宅支援診療所・病院）、福祉施設、事業所、関連する行政機関との連携
- ③医療コーディネーター(メディエーター)
- ・他の医療機関の情報提供（かかりつけ医の検索）
 - ・セカンドオピニオンの相談
 - ・病院に対する意見や苦情の窓口
 - ・医療安全管理に対する相談の窓口
 - ・電話相談（相談内容により関連部署に繋げている）

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人日本医療機能評価機構 「機能種別 一般病院3(3rdG:Ver2.0)」 (令和2年1月6日)		

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	・情報発信の方法、内容等の概要 ①病院のご案内(冊子)：1回/年発行 近隣の医療機関に郵送している。 登録医制度や共同利用制度、診療科のカンファレンスへの参加などの案内と、当院の各診療科の診療内容について具体的な情報を掲載している。 ②十全(情報誌)：2回/年発行 一般向け病院の各所に置いて自由にお持ちいただく 当院が取り組んでいる地域医療の情報(救急医療、災害対策等)や、診療のトピックスなど ③外来担当医表：1回/年発行 地域医療機関向け当院の外来担当医を掲載し郵送している。 ④病院ホームページ：随時編集 地域医療連携研修会の開催案内や、上記①, ②の編集等 ⑤メールマガジン「横浜市大センター病院 連携NEWS」：診療科のトピックスなどを紹介。		

3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	<p>・退院調整部門の概要 名称 患者総合サポートセンター(医療ソーシャルワーカー・看護師・事務) 本人・家族の意思決定を支援しつつ、療養上の課題、療養の場の選択・移行に関する調整等を行い円滑な転退院支援に取り組む。</p>		

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容	胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、前立腺がん		
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	①パスの内容や運用等を説明するために診療所等への説明 ②医師と共にパス内容と運用の見直し ③パス適応患者の選定と担当者との活用推進		

横浜市立大学附属市民総合医療センター共同利用制度運営要領

制 定 平成 16 年 5 月 21 日

最近改正 令和 4 年 4 月 1 日

第 1 総則

1 目的

この要領は、横浜市立大学附属市民総合医療センター（以下「当院」という。）の施設又は医療設備を主に横浜市南区、西区、中区、港南区、磯子区、金沢区、栄区（以下「地域」という。）の医療従事者の診療、研究又は研修を目的とした利用（以下「共同利用制度」という。）のために開放し、地域の医療機関との連携の推進及び地域の医療従事者の相互研鑽を図ることを目的とする。

2 共同利用制度

共同利用制度の内容は、次のとおり甲（紹介患者診療型共同利用を行う）、乙（紹介患者診療型共同利用を行わない）とする。

- 甲
 - (1) 医療器械利用型共同利用
 - (2) 研究部門利用型共同利用
 - (3) 研修会等参加型共同利用
 - (4) 紹介患者診療型共同利用
- 乙
 - (1) 医療器械利用型共同利用
 - (2) 研究部門利用型共同利用
 - (3) 研修会等参加型共同利用

3 共同利用制度の遵守事項

共同利用制度を利用する者は、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 利用に際しては、あらかじめ、管理部患者総合サポート課地域連携担当で受付を行う。
- (2) 当院内においては、第 2 の 5 により発行された登録医証又は登録歯科医証を必ず着用しなければならない。ただし、研修会等参加型共同利用については、この限りでない。
- (3) 当院の諸規則を遵守する。

4 報酬

- (1) 共同利用制度を利用する者に対しては、その目的に鑑み報酬等は支給しない。
- (2) 共同利用制度の実施により生じた事故等については、別途協議のうえ対応する。

第 2 医療機関の登録

1 事前登録

共同利用制度は、研修会等参加型共同利用を除き、その利用にあたっては事前に登録をしなければならない。

2 登録の対象機関

共同利用制度において登録できる機関は、地域に所在する医療機関又は保険薬局（以下「医療機関等」という。）とするが、地域外で共同利用を希望する医療機関等についても登録できるものとする。

3 登録の申請

(1) 共同利用制度の事前登録を行おうとする医療機関等は、「共同利用制度登録申請書」により横浜市立大学附属市民総合医療センター病院長（以下「病院長」という）に申請するものとする。

(2) その際、利用内容の甲（第1の2）を希望する医師については医師免許証の写しを、歯科医師については歯科医師免許証の写しをあわせて提出するものとする。

(3) 病院長は、申請内容を審査し事前登録を承認した場合は、「共同利用制度登録機関名簿」にその医療機関等の名称、所在地、医師又は歯科医師の氏名等を登録するものとする。

4 登録医証、登録歯科医証及び登録機関証の発行

(1) 病院長は、「共同利用制度登録機関名簿」に登録された医療機関等（以下「登録医療機関」という。）に対しては、登録機関証を発行する。

(2) 病院長は、「共同利用制度登録機関名簿」に登録された医療機関等の医師又は歯科医師（以下「登録医」という。）に対しては、登録医証又は登録歯科医証を発行する。

5 登録名

共同利用制度の利用登録名は、登録医療機関の名称をもって登録するものとする。

6 登録内容の変更

(1) 「共同利用制度登録機関名簿」に登録された登録医等を追加するなどその内容を変更する場合には、「共同利用制度変更登録申請書」により病院長に申請するものとする。

(2) 変更申請がされた場合の処理については、申請時の場合の処理に準ずる。

7 登録医証等の返還

登録の必要がなくなった医療機関等は、病院長に対し、その旨を申し出、登録医証、登録歯科医証及び登録機関証を返還しなければならない。

8 登録の取消

登録医に医師又は歯科医師としての品位を損するような行為のあったときは、病院長はその登録を取り消すことができる。また、登録医療機関の看護師、薬剤師その他の医療従事者において品位を損するような行為のあったときも同様とする。

第3 紹介患者診療型共同利用

1 紹介患者診療型共同利用の内容

地域医療機関から紹介され来院若しくは入院した患者の診療について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが共同して、随時当該患者の検査、処置又は指導を行うことにより、退院後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした診療型の共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、医師については医師免許証の写しを、歯科医師については歯科医師免許証の写しをあわせて提出し登録された医療機関の登録医等とする。

3 共同利用のための病床

当該共同利用のための病床として、1床を確保する。

4 利用内容等の事前調整

紹介入院となった患者に対して当該共同利用を行おうとする登録医等は、あらかじめ管理部患者総合サポート課地域連携担当に連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

第4 医療器械利用型共同利用

1 医療器械利用型共同利用の目的

登録医療機関が検査目的で紹介する患者の検査について、登録医と当院医師が当院の医療器械を共同利用することにより、検査後の円滑な診療につなげるとともに、地域医療連携の推進を図ることを目的とする。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる者は、登録医とする。

3 共同利用のための医療器械

当該共同利用として利用できる医療器械は、次のとおりとする。

- (1) コンピュータ断層撮影装置 (CT)
- (2) 磁気共鳴コンピュータ断層撮影装置 (MR)
- (3) 核医学診断装置 (RI)
- (4) 超音波診断装置
- (5) 長時間心電図記録装置
- (6) 二重エネルギー骨X線吸収測定一体型装置 (DXA)
- (7) 脳波検査

4 利用内容等の事前調整

検査目的で紹介した患者に対して、当該共同利用を行おうとする登録医は、あらかじめ管理部患者総合サポート課地域連携担当に連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

第5 研究部門利用型共同利用

1 研究部門利用型共同利用の目的

登録医療機関の医療従事者のために当院の研究部門の機能を開放し、地域の医療従事者の研究活動を支援するとともに、必要に応じて、その研究活動に対し、互いに連携することで、地域医療の質の向上を図ることを目的とする。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる者は、登録医療機関に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

3 対象研究部門

当該共同利用のために利用できる研究部門は、図書室とする。

4 利用時の手続等

- (1) 図書室の利用にあたっては登録医証、登録歯科医証又は登録機関証を提示し、所定の手続を行うとともに備え付けの利用簿に必要事項を記入し利用するものとする。
- (2) 図書室の利用については、資料の室内閲覧及び複写とし個人情報以外の情報等に限るものとする。(電子ジャーナルの閲覧は含まない)

第6 研修会等参加型共同利用

1 研修会等参加型共同利用の目的

当院が行う研修研究活動を地域の医療従事者に開放し、研修研究活動を進めることで、地域医療の質の向上を図ることを目的とする。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる者は、地域の医療機関に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

3 対象研修会等

当該共同利用のために参加できる研修会等は、次のとおりとする。

- (1) センター病院 CPC、臨床カンファレンス、学術講演会その他これに類する研修研究活動
- (2) 病院各診療科が開催する各科症例検討会、研究会又はこれに類する研修研究活動
- (3) 病院の看護部、医療技術部門又はその他の部門が開催する研修研究活動
- (4) 記念的行事として行われる講演会、その他これに類する研修研究活動

4 利用時の手続

当該共同利用により開催される研修会等を利用しようとする地域医療従事者は、開催された研修会等会場に備え付けの利用簿に必要事項を記入するものとする。

附 則

(施行日)

- 1 この要領は、平成 16 年 5 月 21 日から施行する。
- 2 この要領は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 3 この要領は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 4 この要領は、平成 25 年 9 月 1 日から施行する。
- 5 この要領は、平成 29 年 12 月 1 日から施行する。
- 6 この要領は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 7 この要領は、令和 3 年 11 月 1 日から施行する。
- 8 この要領は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

地域医療連携研修会 実績 (各診療科)

(令和5年度)

回	日時	テーマ	講師	参加人数		
				院内	院外	合計
第1回	5/18 (木) 18:30~20:00 オンライン配信	皮膚疾患研究会 症例横浜検討会①	皮膚科 部長 等	5	67	72
第2回	5/18 (水) 19:20~20:45 ハイブリッド開催 ホテルプラム 横浜2階	第11回南横浜整形リウマチ懇話会 「整形外科による医療安全-骨粗鬆症患者の転倒転落を含む-」	北里大学病院 医療安全担当 副院長 北里大学医学部 医療安全・管理学研究部門 教授	22	61	83
第3回	5/31 (水) 19:00~20:25 オンライン配信	第14回南横浜産婦人科病診連携会 「Retained products of conceptionの管理」 「骨盤臓器脱手術の最近の動向」	婦人科 助教 2名	23	22	45
第4回	6/15 (木) 19:20~20:40 ハイブリッド開催 本館6階会議室	第59回横浜ベイエリアハートセミナー 「音声バイオマーカーを用いた新たな心不全管理」 「効果的な循環器イベントの抑制にむけた高血圧診療～ABPMと家庭血圧～」	心臓血管センター内科 講師 自治医科大学 内科学講座 循環器内科学部門 教授	17	14	31
第5回	6/21 (水) 17:45~18:45 本館6階会議室	第85回CPC (臨床病理検討会) 「急性骨髄性白血病の同種移植後に吐血・咯血を来し、心肺停止に至った症例」	症例呈示：血液内科 画像解説：放射線部 病理解説：病理診断科	36	0	36
第6回	6/29 (木) 18:50~20:00 オンライン配信	地域医療連携研修会 「肝がん診療のアップデート」	神奈川県立がんセンター 副院長	7	19	26
第7回	7/6 (木) 18:30~20:00 オンライン配信	横浜皮膚疾患研究会 症例検討会②	皮膚科 部長 等	6	72	78
第8回	7/12 (水) 18:40~20:30 ハイブリッド開催 TKPガーデンシティ 横浜ホールB	横浜腎代替療法講演会～令和5年度 第1回腎代替療法施設連携研修会～ 【講演①】 「在宅透析への取り組み」 【講演②】 「PD 安全な管理のための取り組み」 【講演③】 「献腎移植の現状」 【特別講演】 「腎代替療法における腎性貧血治療の考え方」	上大岡仁正クリニック 院長 藤沢市民病院 腎臓内科 診療科部長 泌尿器・腎移植科 准教授 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 教授	19	144	163
第9回	7/19 (水) 19:00~20:30 オンライン配信	第6回高齢者糖尿病治療の連携を考える会 「J-DOMEから考える高齢者糖尿病診療」 「高齢者診療における糖尿病の薬物療法」 「J-DOME症例を踏まえた高齢者における高血圧診療と病診連携」	いどがや内科・糖尿病内科クリニック 院長 内分泌・糖尿病内科 助教 腎臓・高血圧内科 助教	0	28	28
第10回	7/20 (木) 19:00~20:05 オンライン配信	地域医療連携研修会 「呼吸器疾患の病診連携～肺検査、周術期治療の最新トピックを含めて～」 「肺癌手術の進歩～Davinciを用いたロボット支援下手術の実験～」	呼吸器病センター内科 助教 呼吸器病センター外科 准教授	21	10	31
第11回	8/31 (木) 19:15~21:00 ハイブリッド開催 本館6階会議室	第16回 内分泌・糖尿病内科 病診連携の会 「悪性腫瘍と糖尿病」 「食事療法の始め方～まずは「食べるルール」を目標に～」 「最適な糖尿病治療を目指した2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム」	内分泌・糖尿病内科 栄養部 国立国際医療研究センター研究所 糖尿病センター 糖尿病情報センター「臨床情報研究室 室長	20	23	43
第12回	9/7 (木) 18:30~20:00 オンライン配信	皮膚疾患研究会 症例検討会③	皮膚科 部長 等	5	63	68
第13回	9/20 (水) 17:45~18:45 本館6階会議室	第86回CPC (臨床病理検討会) 「片側性胸水の治療中に呼吸困難感を主訴に受診した症例」	症例呈示：呼吸器病センター内科 画像解説：放射線診断科 病理解説：病理診断科	13	0	13
第14回	9/20 (水) 19:00~20:05 ハイブリッド開催 TKPガーデンシティ 横浜西口8A	地域の先生方と考えるこれからの皮膚科ネットワーク -乾癬・アトピー性皮膚炎・蕁麻疹について- 「横浜市大センターにおける治療と病診連携について -乾癬・アトピー性皮膚炎・蕁麻疹-」	皮膚科 部長	2	12	14
第15回	10/3 (火) 19:00~20:00 ハイブリッド開催 本館6階会議室	地域医療連携研修会 「膵癌早期診断の取り組みについて」 「膵癌の診断・治療における現状と展望」	消化器病センター内科 指導診療医 消化器病センター内科 講師	23	9	32

	日時	テーマ	講師	参加人数		
				院内	院外	合計
第16回	10/18 (水) 19:00~20:30 オンライン配信	パーキンソン病地域医療連携の会 in Yokohama 「進行期パーキンソン病のデバイス治療について」	脳神経内科 診療講師	0	60	60
第17回	10/19 (木) 19:20~20:40 ハイブリッド開催 本館6階会議室	第60回横浜ベイエリアハートセミナー 「心不全治療におけるマイトラクリップの有効性」 「AMIへのPCI: 予後改善のブレイクスルーを目指して」	心臓血管センター内科 指導診療医 心臓血管センター内科 准教授	14	12	26
第18回	10/19 (木) 19:00~20:30 オンライン配信	第1回地域がん地域医療連携研修会 「男性患者さんにおける妊孕性温存 患者さん支援 (助成金・地域ネットワーク) について」 「女性患者さんにおける妊孕性温存について」	生殖医療センター 部長 生殖医療センター 担当部長	30	27	57
第19回	11/1 (水) 19:00~20:00 オンライン配信	糖尿病Total Care in横浜 「神経障害は”忘れられた合併症”なのか?~プライマリ・ケアとしての糖尿病神経障害の診断と治療」	熊本県立大学環境共生学部 臨床病態代謝学 教授	5	10	15
第20回	11/2 (木) 19:40~20:00 オンライン配信	地域医療連携研修会 「認知症の緩和ケアと意思決定支援」	東京ふれあい医療生活協同組合 オレンジほっとクリニック 地域連携型認知症疾患医療センター長	27	90	117
第21回	11/2 (木) 18:30~20:00 オンライン配信	皮膚疾患研究会 症例検討会④	皮膚科 部長	7	76	83
第22回	11/9 (木) 18:50~20:00 オンライン配信	第12回南横浜整形リウマチ懇話会 「当院における人工関節の実際」 「腰椎CTでの骨密度評価」 「生物学的製剤時代のリウマチ手・足手術」	整形外科 助教 3名	25	15	40
第23回	11/29 (水) 19:00~20:15 ハイブリッド開催 横浜市大サテライト キャンパス7F	第15回南横浜産婦人科病診連携会 「当院で行っている無麻酔細径子宮鏡下手術、深部内膜症手術、帝王切開癒着症候群 (CSDi) について」 「CINの管理について」	婦人科 助教 2名	19	28	47
第24回	11/30 (木) 19:00~20:10 オンライン配信 本館6階会議室	地域医療連携研修会 「原発性肺癌に対する放射線治療の進歩~早期肺癌に対する体幹部定位放射線治療 (SBRT) について~」 「最新の肺癌手術~早期肺癌に対する縮小手術からDaVinciを用いたロボット支援下手術まで~」	放射線治療科 診療教授 呼吸器病センター外科 准教授	15	18	33
第25回	12/20 (水) 17:45~18:45 本館6階会議室	第87回CPC (臨床病理検討会) 「多発転移を認めた原発不明腫瘍の1例」	症例呈示: 呼吸器病センター内科 助教 画像解説: 放射線診断科 病理解説: 病理診断科	28	0	28
第26回	1/4 (木) 19:00~20:30 オンライン配信	心と痛みのバイサイドセミナー 2024 「マインドフルネス総論」	禪僧 (臨済宗建長寺派林香寺住職)、精神科医 RESM新横浜睡眠・呼吸メディカルケアクリニック 副院長	2	130	132
第27回	1/11 (木) 18:50~20:30 ハイブリッド開催 研究棟4階会議室	地域医療連携研修会 「進化する肝癌診療における肝予備能・栄養維持の重要性」 「当院における肝細胞癌治療の実際」	愛媛県立中央病院 消化器内科 主任部長 消化器病センター 診療教授	21	8	29
第28回	1/18 (木) 18:30~20:00 オンライン配信	皮膚疾患研究会 症例検討会⑤		6	72	78
第29回	1/24 (水) 18:30~20:00 オンライン配信 本館6階会議室	第75回 感染症フォーラム 「多剤耐性菌時代の感染症診療~目の前の患者も未来の患者も治すために~」	東邦大学医学部 微生物・感染症学講座 准教授	8	42	50
第30回	1/25 (木) 18:30~19:00 ハイブリッド開催 本館6階会議室	第10回 褥瘡対策フォーラム 「在宅と施設の褥瘡対策、これからいったいどうしていけばいいのでしょうか~悩ましきIADも含めて~」	ふくろ皮膚科クリニック 院長	20	47	67
第31回	1/28 (日) 10:00~12:00 オンライン配信	慢性疼痛診療 オンライン研修会	ペインクリニック内科 診療部長	1	43	44

	日時	テーマ	講師	参加人数		
				院内	院外	合計
第32回	2/7 (水) 18:30~20:30 オンライン配信 TKPランドマークタ ワー会議室	腎代替療法災害対策講演会～令和5年度 第2回横浜市大センター病院 腎代替療法施設連携講演会～ 【講演①】「透析患者の危機管理～神奈川県透析危機対策協議会の試み～」 【講演②】「災害に強いVFDの利点を最大化するには」 【講演③】「当院での腎移植の現状と災害対策」 【特別講演】「CKD患者のHbの維持と合併症リスクの軽減におけるHIF-PH阻害薬の意義～平時から被災後まで～」	腎臓・高血圧内科 部長 日本赤十字社医療センター 腎臓内科 泌尿器・腎移植科 准教授 東北大学大学院医学系研究科腎・膠原病・内分泌内科学分 野 准教授 東北大学病院血液浄化センター	14	114	128
第33回	2/15 (水) 19:20~20:40 ハイブリッド開催 本館6階会議室	第61回ベイエリアハートセミナー 「腫瘍「循環器 最新の話題」 「Real World Data研究を腫瘍循環器学に応用する」	心臓血管センター (内) 東京大学大学院医学系研究科 先進循環器病学 特任講師	20	14	34
第34回	2/20 (火) 18:50~20:00 オンライン配信	第13回南横浜整形リウマチ懇話会 「高齢化社会を背景に増加する高齢者骨盤輪骨折への対応」 「脊椎固定術における、抗菌薬含有フィブリン糊術野散布の術後感染予防効果について」 「1. ひざ関節軟骨シートの臨床治験について (患者さんご紹介のお願い) 2. ひざOAを防ぐために、半月板後根断の診断のポイント」	高度救命救急センター 助教 整形外科 整形外科 講師	18	6	24
第35回	2/22 (木) 18:00~19:20 オンライン配信	アルコール健康障害について 「アルコール依存症の治療について」 「アルコールと認知症の関連について」	精神医療センター 横浜舞岡病院 認知症疾患医療センター 副センター長	5	27	32
第36回	2/28 (水) 17:45~18:45 本館6階会議室	第88回CPC (臨床病理検討会) 「原因不明の心室内左右シャントの症例」	症例呈示：心臓血管センター内科 画像解説：放射線診断科 病理解説：病理診断科	16	0	16
第37回	3/7 (木) 18:30~19:30 オンライン配信	皮膚疾患研究会 症例検討会⑥	皮膚科 部長	6	78	84
				526	1,461	1,987

地域医療連携研修会 実績（薬剤部）

（令和5年度）

	日時	テーマ	講師	参加者数
第1回	2023年5月30日（火） 19:15～20:45	がん領域における薬業連携に必要なこととは～薬局薬剤師の目線から～ がん領域における薬剤師の地域医療連携の推進に向けて	日本調剤 柏の葉公園薬局 外来がん治療専門薬剤師 国立がん研究センター東病院 薬剤部 副薬剤師長	49人 (院内12人、院外37人)
第2回	2023年8月23日（水） 19:15～20:45	胃がん治療とがん悪液質 ～治療経過から考える処方提案のタイミング～	神奈川県立がんセンター 消化器内科 部長	59人 (院内12人、院外47人)
第3回	2023年9月26日（水） 19:15～20:45	入院前情報提供時に心掛けていること 入院前の薬業連携について	日本調剤 横須賀薬局 店舗責任者 衣笠病院 医療技術部 部長 兼 薬剤科 科長	41人 (院内3人、院外38人)
第4回	2023年10月24日（火） 19:15～20:45	進行期肺がんの薬物治療	済生会横浜市南部病院 呼吸器内科 主任部長	40人 (院内5人、院外35人)
第5回	2023年11月30日（木） 19:15～20:45	行政に寄せられた薬局に対する意見・苦情、注意事項等	南区福祉保健センター 生活衛生課	36人 (院内0人、院外36人)
第6回	2023年12月7日（木） 19:15～20:45	腎性腎臓病患者の貧血の病態と薬剤管理	横浜市立大学附属市民総合医療センター 腎臓・高血圧内科 助教	48人 (院内8人、院外40人)
第7回	2024年1月26日（金） 19:15～20:45	乳癌薬物療法～最新のガイドラインをもとに～	千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学教室 助教	32人 (院内3人、院外29人)
第8回	2024年3月7日（木） 19:15～20:45	FRAX®を活用した骨粗鬆症診療と薬剤選択	横浜掖済会病院 整形外科 部長	22人 (院内3人、院外19人)
合計				327人 (院内46人、院外281人)

地域医療連携研修会 実績（看護部）

（令和5年度）

	日時	テーマ	講師（敬称略）	参加者数
第1回	2023年5月25日（木） 17:30～18:30	基本的な呼吸・循環のフィジカルアセスメントを理解し、急変の回避や患者に合わせたケアにつなげることができる	救急看護認定看護師	45名 (院内18名、院外27名)
第2回	2023年6月8日（木） 17:30～18:30	基本的な呼吸・循環のフィジカルアセスメントを理解し、急変の回避や患者に合わせたケアにつなげることができる	クリティカルケア認定看護師	40名 (院内14名、院外26名)
第3回	2023年6月13日（火） 17:30～18:30	人工呼吸療法を受ける患者に必要な観察を理解できる	救急看護認定看護師集	35名 (院内22名、院外13名)
第4回	2023年6月27日（火） 17:30～18:30	循環のフィジカルアセスメントを学び、循環に異常のある患者のケアにつなげることができる	クリティカルケア認定看護師	39名 (院内26名、院外13名)
第5回	2023年7月3日（月） 17:30～18:30	中枢神経のフィジカルアセスメントを学び、意識障害のある患者のケアにつなげることができる	クリティカルケア認定看護師	30名 (院内22名、院外8名)
第6回	2023年7月14日（金） 17:30～18:30	高齢者特有のフィジカルアセスメントを理解し、高齢者の嚥下機能を含めたフレイルの評価がわかる	摂食嚥下障害看護認定看護師	33名 (院内16名、院外7名)
第7回	2023年9月4日（月） 17:30～18:30	手術を受ける患者ケアや継続看護について学び看護実践につなげる	手術室認定看護師	18名 (院内15名、院外3名)
第8回	2023年10月5日（木） 17:30～18:30	糖尿病患者の治療・看護の基本知識・技術を学び看護実践につなげる	糖尿病看護認定看護師	12名 (院内7名、院外5名)
第9回	2023年11月21日（火） 17:30～18:30	精神症状のアセスメントができ、せん妄、抑うつ、認知症の違いを学び、ケアに活かすことができる	精神看護専門看護師 老人看護専門看護師 認知症看護認定看護師	9名 (院内1名、院外8名)
第10回	2023年11月27日（月） 17:30～18:30	血液透析の基本的な知識を理解し、看護実践及び患者と家族等の支援に活かせる	透析看護認定看護師	10名 (院内5名、院外5名)
合計				261名 (院内146名、院外115名)